

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	日本史探究	1 期間履修	2	総合探究科文系（選択）

使用教科書	副教材等
日本史探究（実教出版）	新詳日本史（浜島書店）

科目の目標
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が養われている。
③主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
評価方法	
①知識・技能：小テスト、定期試験等 ②思考・判断・表現：定期テスト、提出物、対話活動での活動観察等 ③主体的に学習に取り組む態度：授業への取り組み状況、提出物の提出状況、授業の振り返り等	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
1	第1部 原始・古代の日本と東アジア		<ul style="list-style-type: none"> 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 自然環境と人間の生活の関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。 	○	○	○
	第1章 日本文化のあけぼの	1. 日本列島最古の文化		○	○	○
		2. 縄文時代の社会と文化		○	○	○
		3. 弥生時代の社会と文化		○	○	○
歴史資料と原始・古代の展望		○	○	○		
1 ・ 2	第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化		<ul style="list-style-type: none"> 国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解できる。 中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合・古代の国家の形成過程について、多面的・多角的に考察し、表現できる。 	○	○	○
	1. 小国の分立と邪馬台国	○		○	○	
		2. 古墳の出現とヤマト政権の成立		○	○	○
		3. ヤマト政権の展開と統治の進展		○	○	○
4. 古墳時代の生活と文化		○	○	○		
2 ・ 3	第3章 律令国家の形成		<ul style="list-style-type: none"> 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解できる。 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代の国家の形成過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現できる。 	○	○	○
	1. 古代国家の形成	○		○	○	
		2. 飛鳥文化・白鳳文化		○	○	○
		3. 律令制度		○	○	○
		4. 奈良時代の政治		○	○	○
5. 天平文化		○	○	○		